

＜社会福祉法人 東村山市社会福祉協議会 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター 様＞

上映日：2018/01/27(土) 場所：東村山市市民センター(東京都東村山市)



会場の様子



「福祉の仕事相談面接会」での上映

大勢の市民の方々に見ていただき、福祉や介護、認知症への理解が深まりました

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

東京都福祉人材センターでは福祉人材を確保するために、各地域ごとに「福祉の仕事相談面接会」を実施しています。その際に、本上映会を実施することにより、より大勢の方々に福祉や介護についての理解と関心を深めてもらうことを目的として行いました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

実行委員会という形ではありませんが、「福祉の仕事相談面接会」実施の実務担当者として携わることになっていた、東村山市社会福祉協議会職員1名と東京都福祉人材センター職員2名が担当して進めました。

●協力の得られた団体はありましたか？

上映会独自ではなく、東村山市で昨年も実施した「福祉の仕事相談面接会」の一環という形をとったので、その実績をもってハローワーク立川の共催、東村山市の後援、東村山市内社会福祉法人連絡会の協力が得られました。

●資金はどのように捻出しましたか？

「福祉の仕事相談面接会」の運営予算の範囲内で賄いました。

●地域へどのように告知をしましたか？

市報への掲載、市内掲示板への掲示、図書館等の公共施設での配架・掲示、ハローワークに配布して案内してもらう、福祉系大学・専門学校に配布、人材センターに求職登録している方へ郵送、新聞へのチラシ折り込みなどを行いました。特に、市報を見て参加した方が約3割を占め、その効果を感じました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

現在、介護や看護に携わっている方には「気持を新たに頑張る」という言葉を、家族の介護をされてきた方からは、思い出や辛さが蘇るが改めて人を大切にすることと生きることは同じだと感じた、他の方からは、自分のこれからの生き方について考えさせられたとのコメントが寄せられました。

大勢の東村山市民の方々に見ていただき、福祉や介護、認知症への理解が深まったのではないかと思います。

欲を言えば、参加者の年齢層が50代以上の方が大半を占めており、できれば中学・高校・大学生などの若い世代にもぜひ見てほしかったと思っています。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

認知症そのものについての理解や、その関わり方についての学び、人は人との関わりの中で、安心して過ごせる居場所があれば、その人らしい生き方ができるということ、相手を思いやる心を持っていれば認知症に限らず、すべての人がとても住みやすい世の中になるということを教えてくれるいい映画だと思います。学校単位で上映会をしてくれるところがあるといいと思います。

社会福祉法人東村山市社会福祉協議会・社会福祉法人東京都社会福祉協議会東京都福祉人材センター
<http://www.tcsww.tvac.or.jp/jinzai>
福祉の仕事についての相談機関です。福祉の仕事に就きたい方への仕事の紹介、相談・面接会、職場体験、見学会、セミナーの実施など就職へのお手伝いの他、中学・高校生への出前授業など、次世代に対する福祉教育なども行っています。